

CDP ウォーター プログラム — 機関投資家が注目する、企業の水への取組み —

2017年10月24日

株式会社QUICK ESG研究所

目次

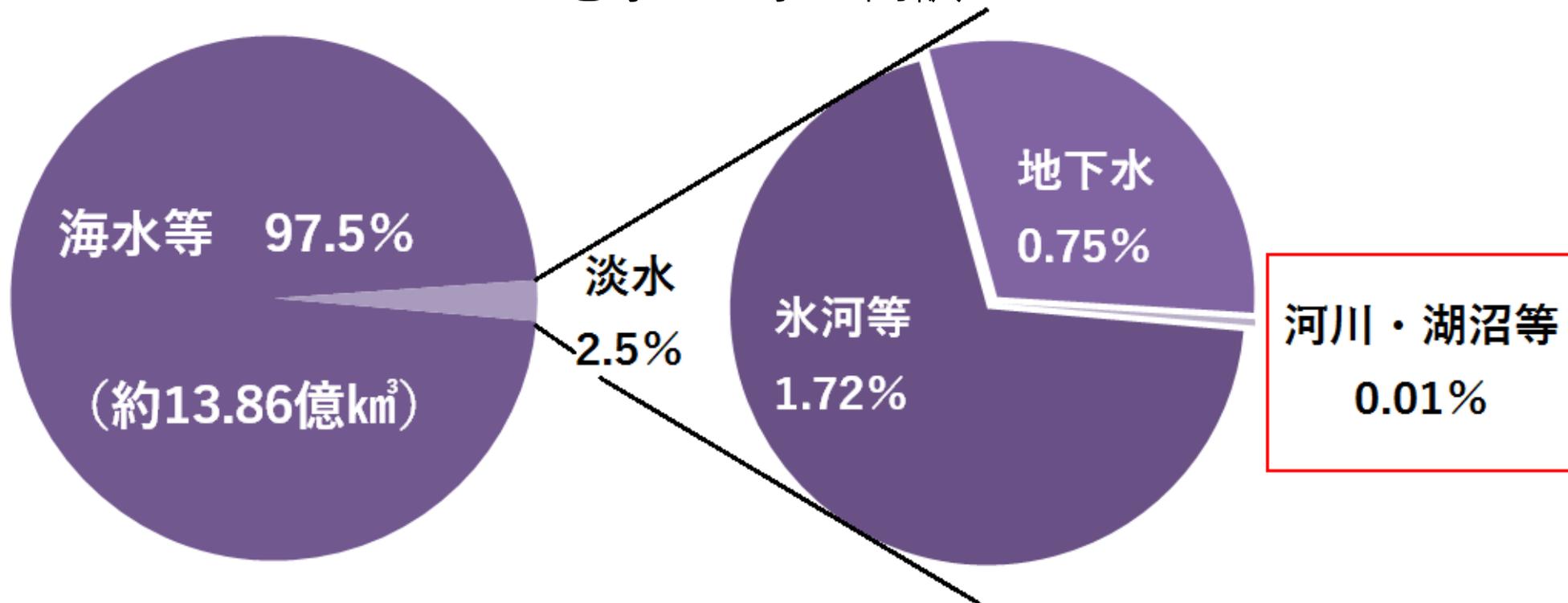
1. 限りある水資源と世界の現状
2. 水課題とSDGs
3. 水に危機感を抱くビジネス界
4. 水に注目する機関投資家
5. まとめ

1. 限りある水資源と世界の現状

地球に存在する水のうち淡水の割合は2.5%

人間が使用しやすい淡水の割合は、全体のわずか0.01%

地球上の水の内訳



1. 限りある水資源と世界の現状

世界が直面している水課題の脅威と懸念



8億9,400万人

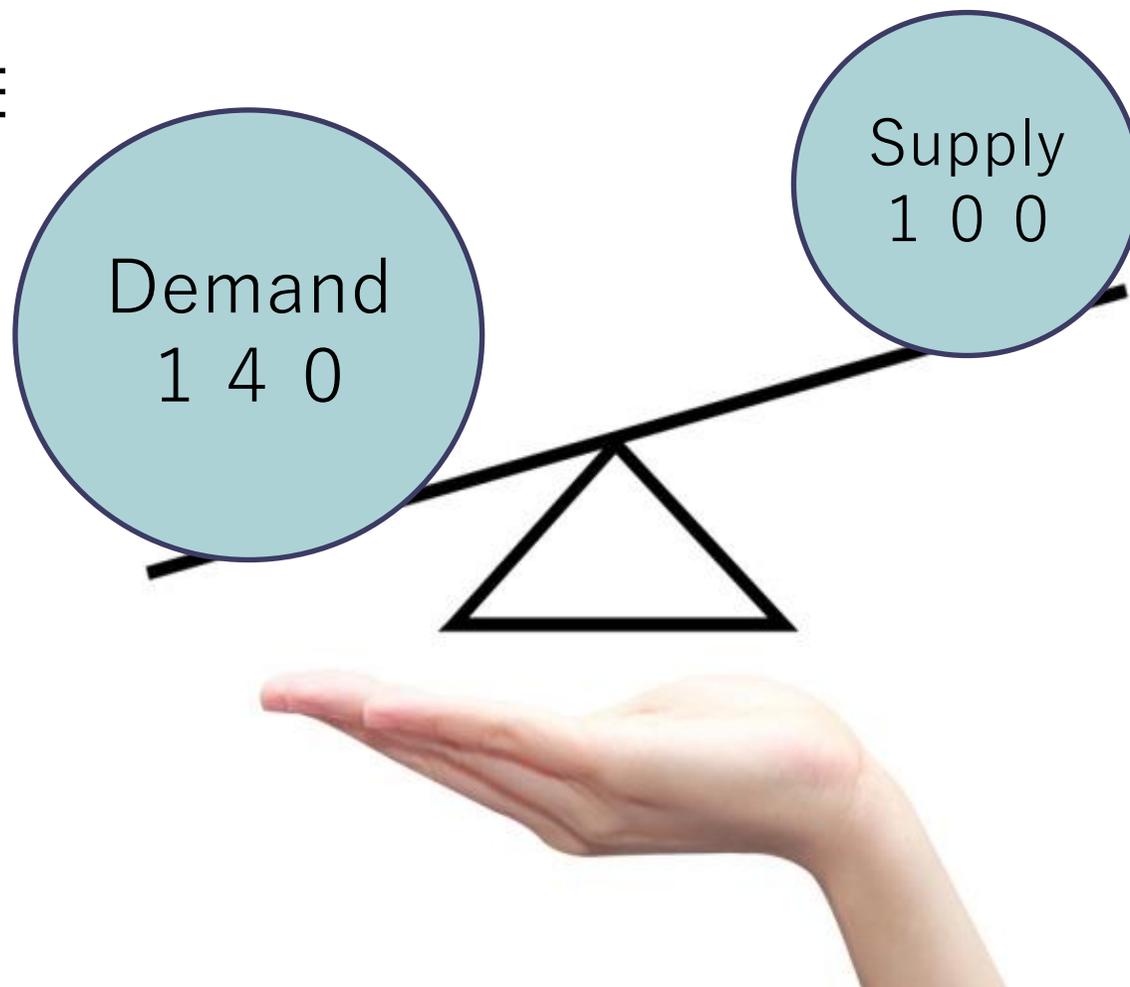


約12兆円

出所：2030 Water Resources Group 「The Water Resources Group Background, Impact and the Way Forward」 (2012年1月公表)
よりQUICK ESG研究所作成

1. 限りある水資源と世界の現状

2030年



出所：2030 Water Resources Group | The Water Resources Group Background, Impact and the Way Forward |
よりQUICK ESG研究所作成

2. 水課題とSDGs

水はSDGsでも言及される重要な課題

6 安全な水とトイレ
を世界中に



すべての人々の
水と衛生の利用可能性と
持続可能な管理を確保する

1 貧困を
なくそう



あらゆる場所の
あらゆる形態の
貧困を
終わらせる

11 住み続けられる
まちづくりを



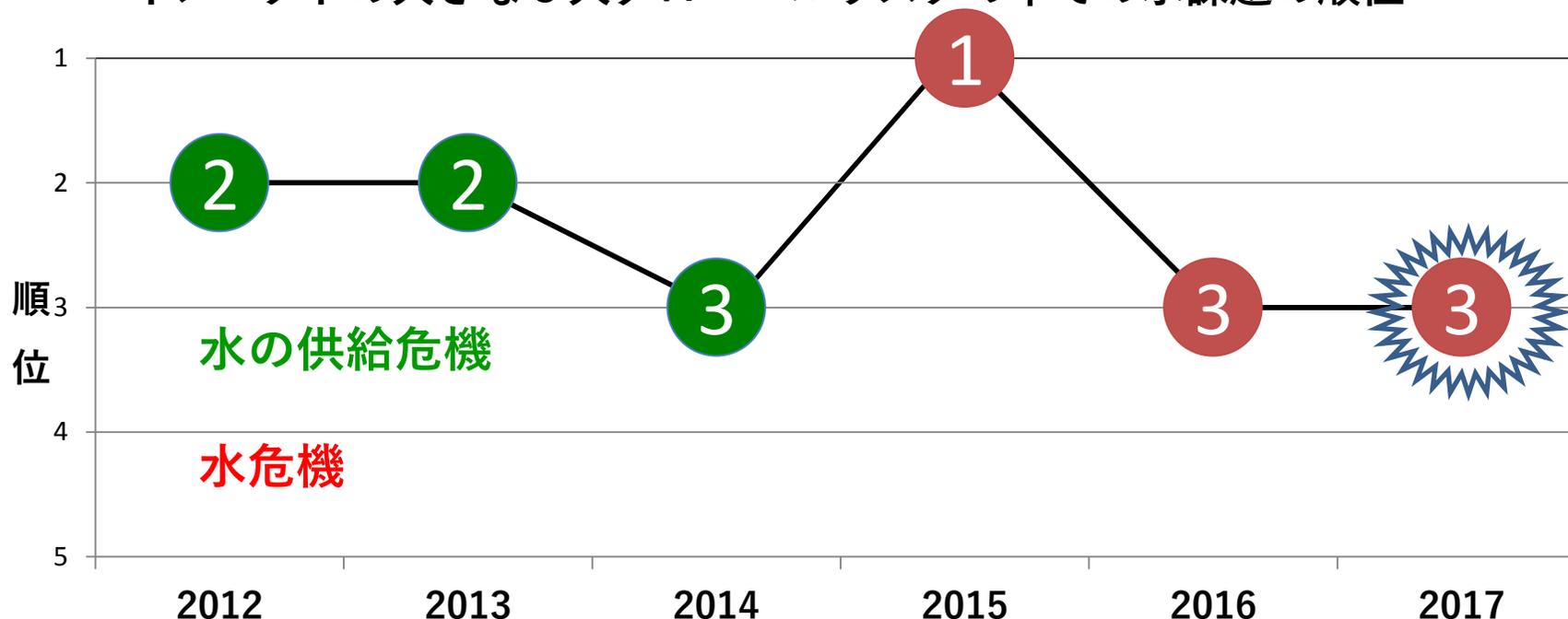
包摂的で安全かつ
強靱(レジリエント)で
持続可能な都市及び
人間居住を実現する

出所：「我々の世界を変革する：持続可能な開発 2030 アジェンダ」よりQUICK ESG研究所作成

3. 水に危機感を抱くビジネス界

ビジネス界も、水リスクの「負のインパクト」を認識

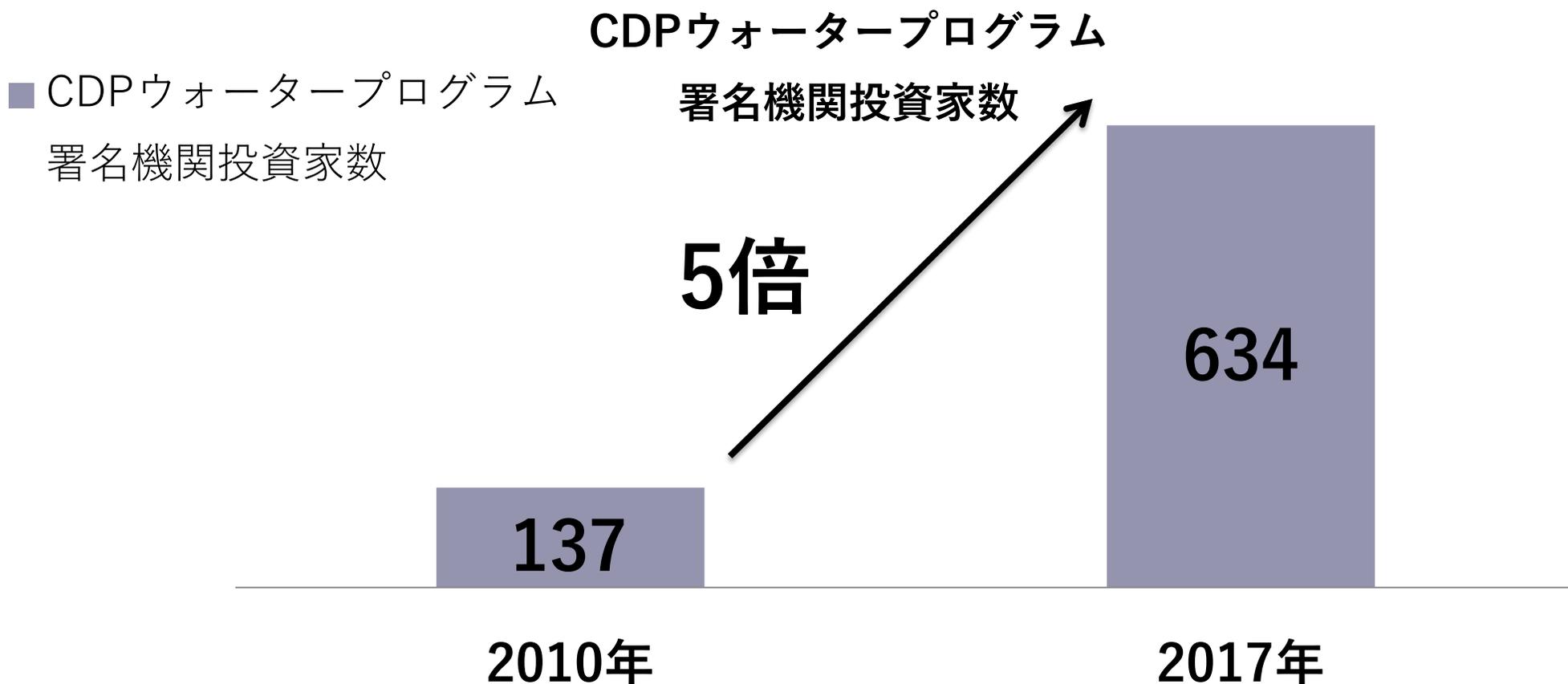
インパクトの大きな5大グローバルリスクの中での水課題の順位



出所：World Economic Forum, WEF Global risk report 2017, Figure2より、QUICK ESG研究所作成

4. 水に注目する機関投資家

ウォータープログラムの署名機関投資家数は開始7年で5倍

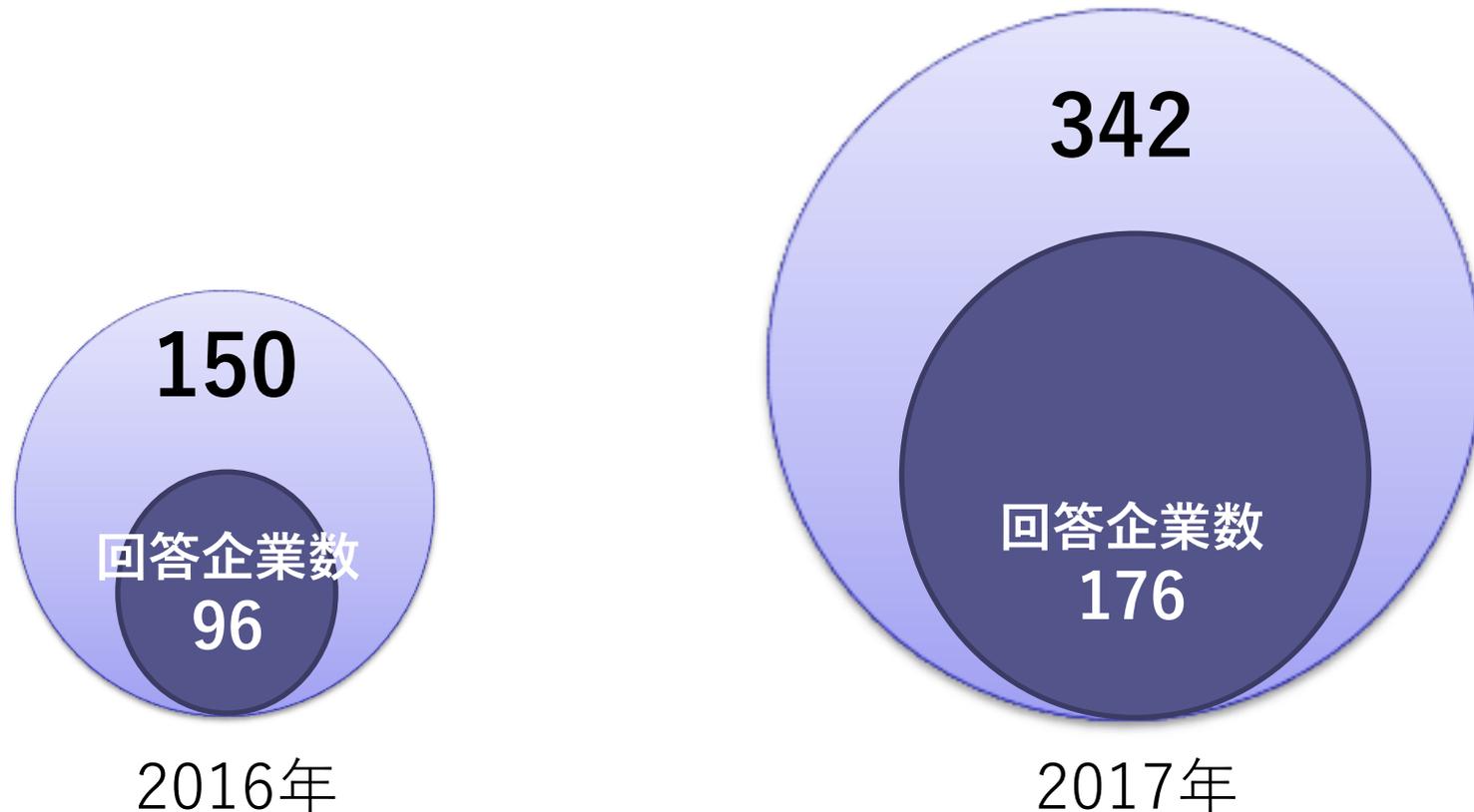


出所：CDPウォーターレポート2012-2016、およびCDP資料よりQUICK ESG研究所作成

4. 水に注目する機関投資家

2017年、CDPウォーター質問書の送付先日本企業数は大幅に増加

質問書送付先 日本企業数



出所：CDP資料より、QUICK ESG研究所作成

4. 水に注目する機関投資家

PRI署名機関投資家、
水をテーマとした協働エンゲージメント活動を促進

協働タイプ	件数
エンゲージメント & ワーキンググループ	34
共同研究	10
株主共同提案	16
合計	60

出所：PRI コラボレーションプラットフォームよりQUICK ESG研究所作成
※2017年10月現在

4. 水に注目する機関投資家

- ノルウェー銀行（中央銀行）投資運用部門
(Norges Bank Investment Management: NBIM)



- カナダ年金基金投資委員会
(Canada Pension Plan Investment Board: CPPIB)



- PGGM（オランダ）



- ACTIAM（オランダ）



4. 水に注目する機関投資家

ノルウェー銀行（中央銀行）投資運用部門（Norges Bank Investment Management）

水に関わる 投資方針や 考え方

- 重要テーマの1つ
- 積極的なエンゲージメント活動を実施
- 投資先企業には、潜在的な水リスクを考慮することを期待

取組み

- 2016年度は高リスク600社を対象に評価を実施
- 2015年までに合計44社をダイベストメント

4. 水に注目する機関投資家

ACTIAM

水に関わる 投資方針や 考え方

- 持続可能な将来のための重要テーマの1つ
- リスクであると同時に投資機会
- エンゲージメントにより情報開示や改善を要請

取組み

- 投資先の選定にESGレーティングを実施
(CDPも考慮)
- ダイベストメントは最終手段
- 直接/協働エンゲージメントや議決権行使

5. まとめ

◆水は主要なグローバル課題の1つ

機関投資家が企業に求める具体的なアクション

◆水への取組みの、さらなる情報開示

◆水リスクや機会の管理

◆エンゲージメント要請への積極的な対応



About QUICK ESG 研究所

グローバルな責任投資に関する研究を専門とするアナリスト、コンサルタントを擁し、年金基金、運用機関、および企業のCSR/IR/経営企画部門に必要なESGデータ、分析レポート、および戦略アドバイザーを提供する

- 2014年4月 「QUICK EIRIS ESGサービス」の提供を開始
- 2014年10月 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の「年金積立金管理運用独立行政法人におけるスチュワードシップ責任及びESG投資のあり方についての調査研究業務」を受託
- 2015年2月 事業法人向けアドバイザーサービス「QUICK ESGサービス for Corporation」を開始
- 2015年5月 「QUICK ESG研究所ポータルサイト」を開設
- 2016年2月 米議決権行使助言会社大手 グラスルイス（GLASS LEWIS）とパートナーシップ契約を締結
- 2016年7月 CDP Water のスコアリングパートナーに認定

【国際的な活動】

PRI署名機関

CDPゴールドデータパートナー、CDP Waterスコアリングパートナー

JSIF法人会員、理事

RI（Responsible Investor）Asia 2014、2015 共同スポンサー、2016 /2017リードスポンサー

VigeoEIRISパートナー

Glass Lewis パートナー

Signatory of:



GLASS LEWIS



About QUICK ESG 研究所

QUICK ESG研究所 ポータルサイト <https://www.esg.quick.co.jp>

QuickESG研究所 責任投資の最前線

ログイン 会員登録 無料メルマガ登録 お問い合わせ

ESG研究所 Why QUICK ESG

サービス Services

リサーチレポート Research

お知らせ What's new

メディア掲載情報 QUICK ESG in Media

ブログ Blog

リサーチ記事検索

- ジャンルから探す
- 業界から探す
- 地域から探す
- カテゴリーから探す

【国際】PRI、日本のESG投資や受託者責任の現状と提言をま

ESG情報開示を巡る動きが賑やかだ。

続きを読む

What's New お知らせ

2017年1月13日

【お知らせ】QUICKが「グラスルイス 議決権行使管理」プラットフォームを大和証券投資信託委託に提供開始

2017年1月13日

【お知らせ】QUICK ESG研究所主催 上場企業対象セミナー「GLASS LEWIS with QUICK」～日本版ステewardシップ・コード改訂が及ぼす議決権行使への影響～のご案内

2016年12月16日

【セミナー開催報告】QUICK ESG研究所主催

Research リサーチレポート

2017年5月12日

【水口教授のヨーロッパ通信】ロンドン証券取引所のESGレポートガイダンスが意味すること

2017年2月、世界の主要取引所の一角であ

Events イベント

2017年5月25日

CDPサプライチェーン2017・ワークショップ第一回

開催日 2017/05/23 (火)

2017年5月25日

RI Europe 2017 LONDON

開催日 2017/06/06 (火)

2017年5月24日

ワークショップ2017 第二回

ご清聴ありがとうございました